

平成 25 年度周知広報活動の実施状況（上期分）

ユニバーサルサービス制度に関する周知広報活動の一環として、消費者団体への周知及び親子見学・説明会を実施した。実施概要は以下のとおり。

1 消費者団体への周知

消費生活センター、消費者団体等の参加する電気通信消費者支援連絡会（全国の 11 の総合通信局単位で 4 月～9 月の間に 1 回開催（予定含む））において、ユニバーサルサービス制度に関する資料の配布による周知を行った。

2 親子見学・説明会の開催

（1）主催：総務省 中国総合通信局、（一社）電気通信事業者協会

協力：西日本電信電話株式会社、広島市消防局

（2）日時：平成 25 年 7 月 26 日（金） 13：30～17：00

（3）参加者：広島市内の小学 5，6 年生の親子 16 組 33 名が参加。

（4）場所・内容

①説明会（約 40 分）

・場 所：メルパルク広島（広島市中区基町）

・内 容：DVD 等によりユニバーサルサービス制度について説明した後、参加親子との質疑応答を実施。沢山の質問が出され、大変充実した質疑応答となった。

なお、本説明・見学会には、総務省情報通信行政・郵政行政審議会の長田 三紀委員（全国地域婦人団体連絡協議会 事務局次長）も出席。

②見学会（約 2.5 時間）

・NTT 西日本関係施設

沢山の通信ケーブルが收容された「とう道」を見学した後、「衛星ポータブル車」及び「光ファイバーの接続」を見学した。

・広島市消防局

119 番通信指令室を見学し、実際の通信指令業務について説明を受けると同時に質疑応答を行った。

(5) マスコミの取材状況

開催予告が1社から、開催実施状況が2社から報道された。

(6) アンケート結果の概要（参加親子16組全員が回答）

- ・「ユニバーサルサービス制度」の存在及びその維持費用をユニバーサルサービス料で負担していることについては、「知っていた」という回答が多いが、何がユニバーサルサービスの対象となっているかについては、「知らなかった」という回答が多い。
- ・「説明・見学会」の内容及び理解度については、ほぼ全員が「良かった」、「理解できた」との評価。
- ・見学施設・設備については、光ファイバー接続体験及び119番通信指令室の評価が高かった。
- ・「自由意見」では、「とう道など普段見ることのできない施設を見学でき、更に理解が深まった」、「ライフラインの確保、人命の確保のためにプロの仕事を見学できて感動した」、「専門用語が使われていたので子供には分かりにくいところもあった」などの意見があった。